

売上拡大中！

滋賀のキラリと光るモノづくり企業

特集1

草津電機株式会社 P2

株式会社キーテック P4

美成産業株式会社 P6

有限会社和晃プラスチック P8



プラザの事業紹介

サポイン事業報告 P10

IoTをビジネスに活かす P12

インフォメーション P14

平成28年度イベント・セミナー概要 P18

特集2

地域の創業応援隊育成事業 P19



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ

勇気と夢を持って 社員 10 人の企業がベトナムへ進出

株式会社キーテック

代表取締役 きしば よしのぶ 岸場 功修 さん 管理課長 きしば けいた 岸場 啓太 さん

一般産業機械の設計、製作、据付、保全までをトータルに手がける株式会社キーテック。創業からわずか 16 年で、栗東工場の他、ベトナムにも工場を持ち、新規でベトナム進出する企業の工場設備などを広く手がけている。ベトナム人スタッフを「使う」のではなく、信頼し「任せる」という岸場社長ならではの経営方針が、社員の向上心を引き出し、困難な状況でも諦めずチャレンジし続ける好循環を生み出している。ベトナム経済の発展とともに、先駆者としての存在感は、益々大きくなることだろう。



日本とベトナムの架け橋に ベトナム進出企業をサポート

— 設立の経緯を教えてください。

15 年前まではエンジニアとして産業機械メーカーに勤めていましたが、会社が突然倒産してしまったのです。従業員はもちろん、機械を納入していた取引先の方も、その後のメンテナンスをする会社がなくなり、大変困っている様子でした。そこで、当時の同僚 5 人とキーテックを立ち上げ、保全作業を引き継ぐことにしたのです。

取引先は上場企業だけで 10 社以上ありましたし、それが信用となったのか、新規の仕事も次々と入ってきて、業績は順調でした。主に産業機械を扱っていましたが、2001 年には大手エステ会社から「全自動人間洗濯機」の共同開発・製作の依頼

を受け、1 年間で 100 台のマシンを納入した実績もあります。

「優れた機械を適正価格で」をモットーに、お客様に喜んでいただける仕事を続けた結果、創業から 2 年目の 2002 年には、自社工場を建てることができました。

— ベトナムへ進出した理由は？

2009 年のリーマンショックで、突然仕事がなくなりました。その年の売上げは前年の 3 分の 1 に激減し、社員をリストラしなければならないほど、苦しい状況に陥ったのです。

そんな中、取引先のメーカーから、ベトナムで工場を持つことを勧められたのです。弊社ではリーマンショック後、どのように製造コストを下げればいいのかという課題がありました。そして、そのメーカーも近い将来、海外に生産工場を移

すのではと予想し、その前に、弊社が拠点を持つことは、大きなアドバンテージになるのではないかと考えました。

まず現地の様子を見ておこうと、初めてベトナムを訪れたのが、2010 年の 10 月でした。その 2 か月後にはロンハウ工業団地と契約し、2011 年の 2 月には営業許可が下り、操業までトントン拍子に進んでいきました。

その後、ベトナムに進出してくる日系メーカーから工場設備の仕事が徐々に入り始めました。そして、ある大手建材メーカーから、ベトナム工場建設にあたり、合板を作る材料となる木材チップの加工機械の製作依頼があったのです。弊社にとっては少し大きすぎる額の仕事でしたが、ベトナムスタッフのやる気を信じ、受注することにしました。

木材から皮を剥ぎ、合板用にチップにするという仕様で、1 時間に 50

DATA

株式会社キーテック

- 代表者 / 代表取締役 岸場 功修
- 従業員数 / 10 名
- 住所 / 〒 520-3042 滋賀県栗東市辻ミノリ 694-2
- 創業 / 2000 年
- 業務内容 / 一般産業機械の設計、製作、保守
- TEL : 077-551-4801 (代)
- URL : <http://www.key-tech.co.jp> E-mail : kishiba@key-tech.co.jp



トンを処理するという高いスペックが要求されました。しかし、なかなかそのスペックに届かず、何度も改良をくり返す状態が思いのほか長く続いたのです。

その結果、会社の運転資金が苦しくなり、資金調達に奔走する日々が続きました。「会社を潰してしまうかもしれない」という状況にまで追いつめられ、もうこれ以上無理だと諦めかけたその時、銀行から融資の連絡を受けたのです。それから1ヶ月後、無事、要求されたスペックを達成し、設備を納入することができました。その結果、発注元の建材メーカーの合板生産量は以前の3倍になったそうです。

この成功のおかげで、ベトナム工場も軌道に乗り、現在では22人のベトナム人スタッフがいきいきと働いてくれています。

厚い信頼で結ばれた 優秀な人材が成功の秘訣

—ベトナム工場の成功の秘訣は？

やはり、いい人材に恵まれたことです。ベトナム工場を立ち上げる時、日本に機械工作技術の勉強に来ていた3人のベトナム人研修生に出会いました。優秀で真面目な性格に惹かれ、この3人に一緒に働いてくれないかと頼みこみ、ベトナム工場がスタートしたのです。その一人が、現在、製造部長のLong（ロン）さん

です。彼を採用する際、家族を大切にしている本人から「故郷の両親に会ってほしい」と言われ、ハノイにあるご実家に挨拶に行きました。私も彼の両親に会うことで、責任ある日本の保護者だと自覚することができました。

今、ベトナム工場に日本人スタッフはおらず、すべて彼らに任せています。ベトナムのスタッフ教育に関しては、数名ずつ、栗東の工場に呼び寄せ、日本のやり方を覚えて帰ってもらうという方法をとっています。現地に日本人スタッフを派遣するよりも、日本に来て働いてもらう方が、日本語を覚えたり、仕事以外の日本文化に触れる機会が多いように思います。

—これからの目標は？

好調なベトナム工場同様、栗東の本社工場も堅調に業績を伸ばし、おかげさまで4期連続黒字の見込みです。2年前に長男がキーテックに入社し、管理課長として頑張ってくれています。視野を広げてさらなるビジネスチャンスをつかみたいと考



▲ベトナム工場。岸場社長が家族のような信頼関係で結ばれているという自慢の従業員たち。

え、プラザさんの紹介で、商談会*にも積極的に参加しています。おかげ様でたくさんのお見積もり依頼をいただき、新しい仕事に繋がったケースもあります。

やはり商談会でも弊社がベトナム工場を持っていることに興味を持たれるお客様が大変多いです。「失礼ですが、どうして御社のような社員10人の会社がベトナムに工場を持つことができるのですか？」とストレートに疑問をぶつけられることがあります。そんな時は「勇気と夢と、いい人材に出会えたからです」とお答えしています。

5年後の目標は、ベトナム工場を栗東工場と同等の技術レベルにすることです。ベトナムの経済発展は目覚ましく、人件費も上がりつつあります。現地の様々な業種で、手作業でしていた工程を機械化しようという動きが出てくるでしょう。その時が、設計から保全までのトータルサービスを行える、キーテックの出番だと思っています。

今年中には、ベトナム本社工場の建設を予定しており、さらなる飛躍の年となりそうです。



▲日本に技術やマネジメントを学びに来ている製造部長のLongさんとTaiさん。ベトナム工場を取り仕切る幹部メンバー。

※プラザの販路開拓支援

プラザでは、取引先拡大のためのビジネスマッチング（商談会）の開催や取引に関する相談、海外展開の際アドバイスが受けられる貿易投資相談窓口など、多岐にわたる支援を行っています。

問い合わせ先

(公財)滋賀県産業支援プラザ 経営支援部 販路開拓課 担当/中嶋・植村・谷口(斉)
TEL : 077-511-1413 FAX : 077-511-1418 E-mail : hanro@shigaplaza.or.jp